

2007年12月5日

2008年3月期 中間決算説明会用資料

- ◆ 中間連結決算 実績対比表 頁 1～2
- ◆ 中間個別決算 内訳表 頁 3
- ◆ 分析機器事業 頁 4～8
- ◆ 自動認識事業 頁 9～11

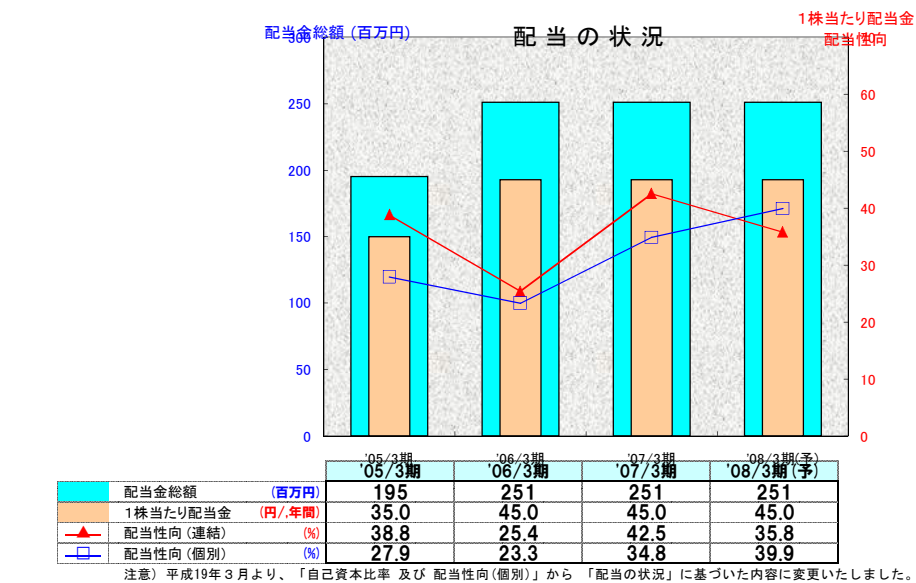
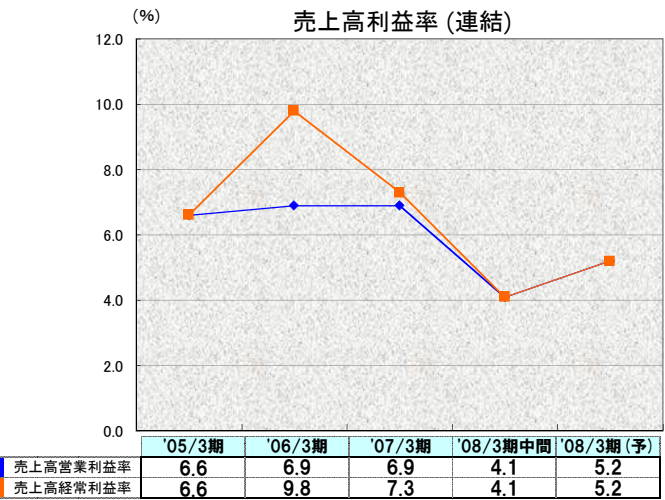
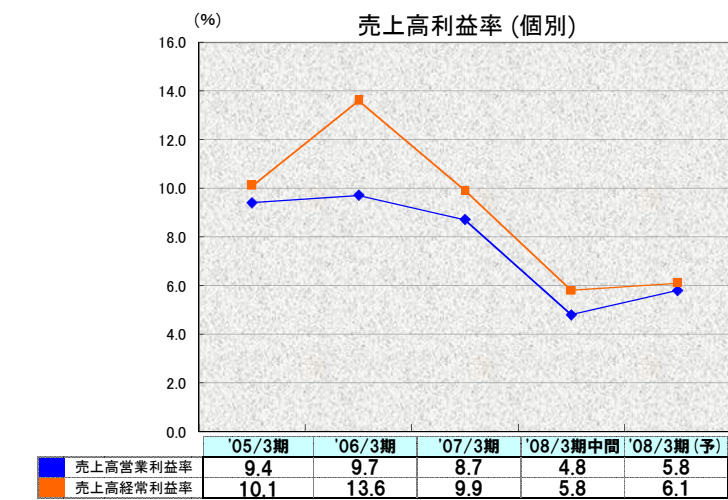
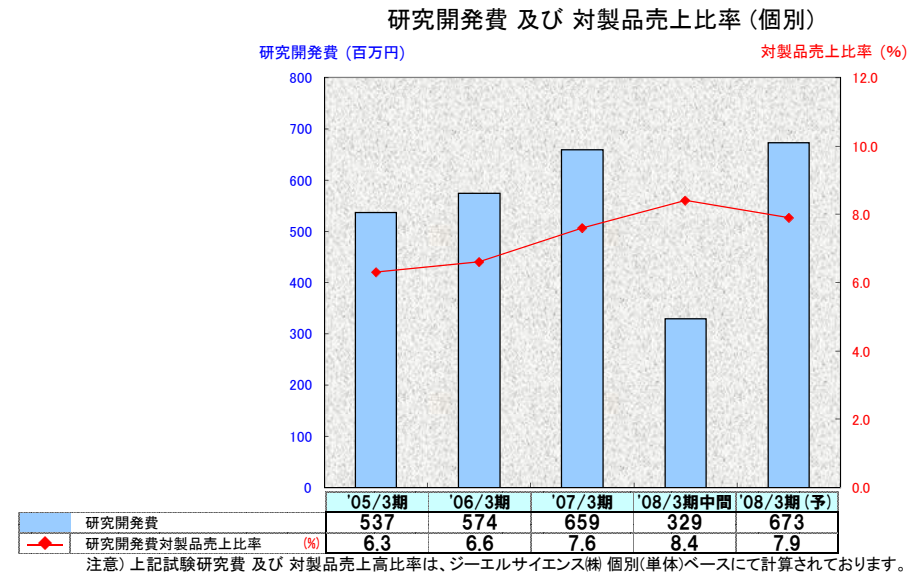
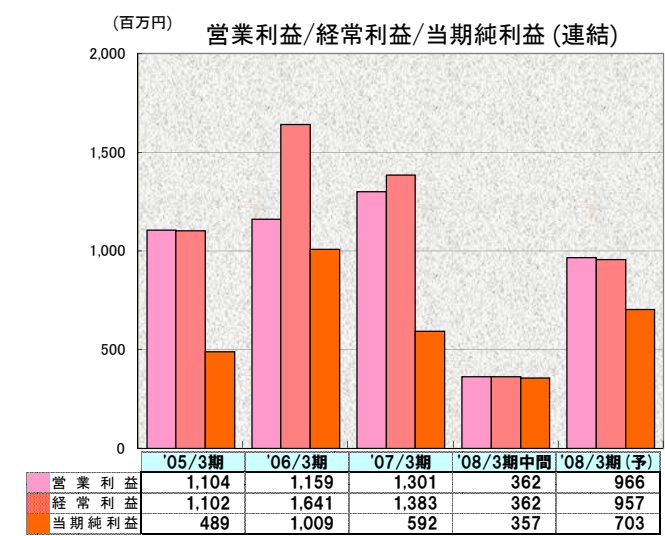
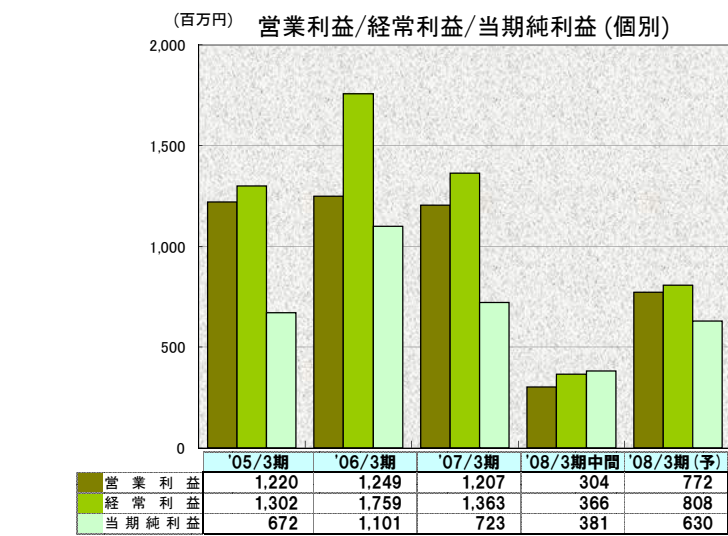
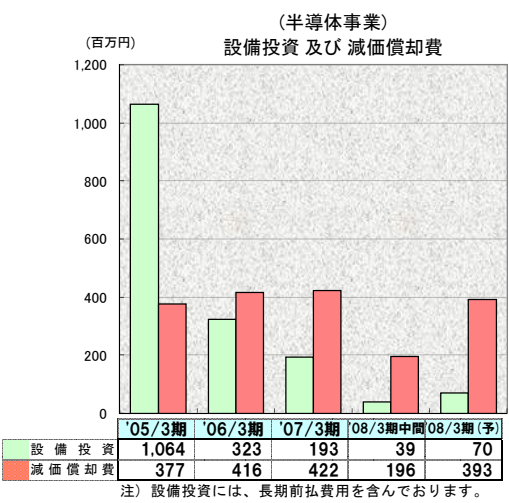
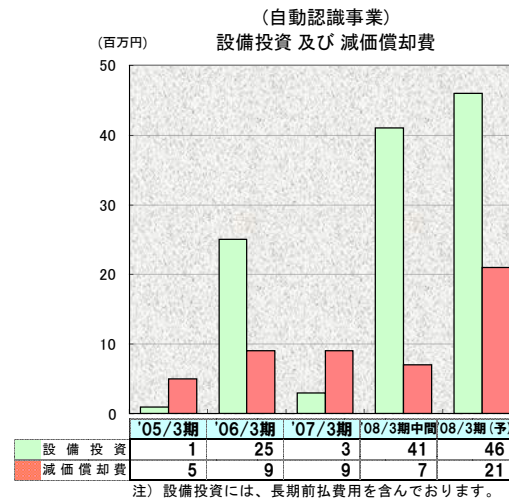
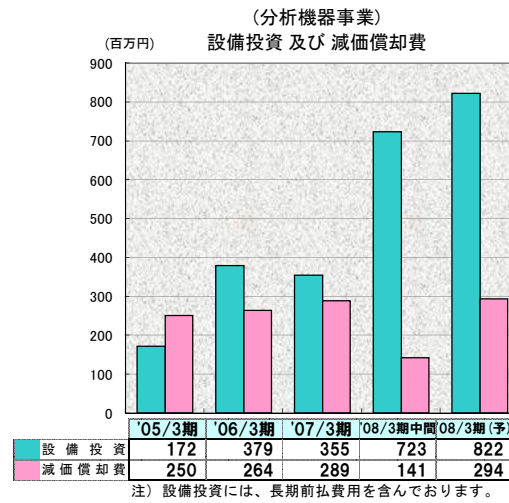
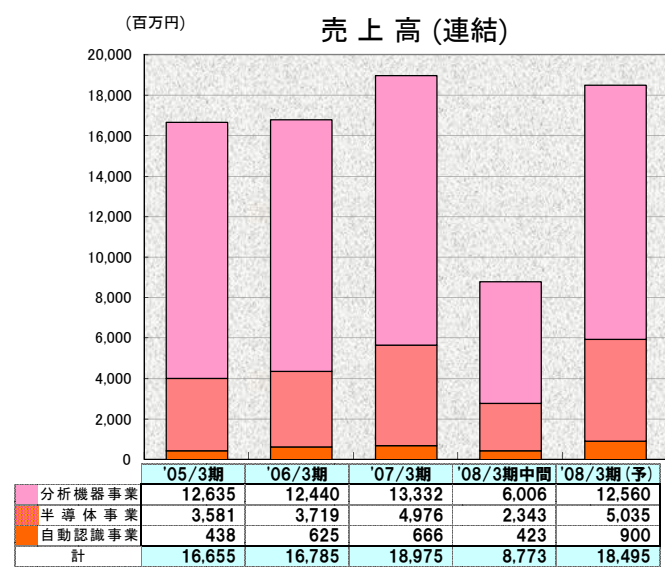
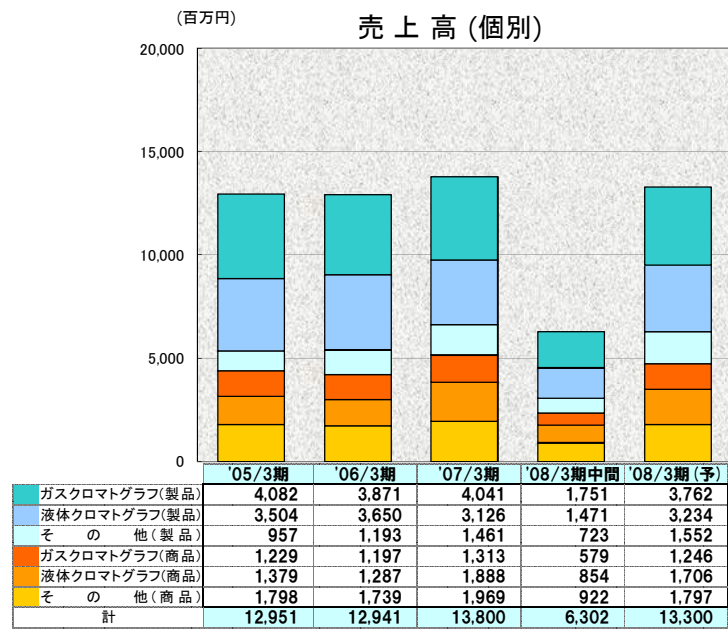
平成20年3月期 連結決算 第2四半期 前期実績・当期実績比較 及び 前通期実績・当通期計画比較

●第2四半期 ①前期実績/②当期実績

Main table for the 2nd Quarter (第2四半期) comparing actual performance of the previous period (前期実績) and the current period (当期実績). It includes 12 columns for different business units: ジェールサイエンス(分析機器事業), ジェールサイエンス(自動認識事業), ジェールサイエンス(個別決算(分析機器+自動認識)), テクノクオーツ(連結)(半導体事業), ATAS GL International B.V.(分析機器事業), GL Sciences, Inc.(USA)(分析機器事業), and 連結決算 (Consolidated Results). Each column contains rows for revenue (売上高), gross profit (売上原価), operating profit (営業利益), etc., with values in thousands of yen and percentage changes.

●通期 ①前期実績/②当期見直し後計画

Main table for the Full Year (通期) comparing actual performance of the previous period (前期実績) with the revised plan for the current period (当期見直し後計画). It follows the same 12-column structure as the 2nd quarter table, covering all business units and consolidated results.



会社別実績及び計画数値

	ジーエルサイエンス株式会社																テクノオウツ株式会社(連結)					ATAS GL International B.V.					GL Sciences, Inc. (USA)					連結決算				
	分析機器事業				自動認識事業				ジーエルサイエンス株式会社(個別)								テクノオウツ株式会社(連結)					ATAS GL International B.V.					GL Sciences, Inc. (USA)					連結決算				
	'05/3期	'06/3期	'07/3期	'08/3期中間	'05/3期	'06/3期	'07/3期	'08/3期中間	'05/3期	'06/3期	'07/3期	'08/3期中間	'05/3期	'06/3期	'07/3期	'08/3期中間	'05/3期	'06/3期	'07/3期	'08/3期中間	'05/3期	'06/3期	'07/3期	'08/3期中間	'05/3期	'06/3期	'07/3期	'08/3期中間	'05/3期	'06/3期	'07/3期	'08/3期中間				
売上高	12,512	12,315	13,134	5,879	12,400	447	633	670	424	900	12,951	12,941	13,800	6,302	13,300	3,690	3,842	5,100	2,401	5,035	174	148	160	99	239	—	121	134	73	166	16,655	16,785	18,975	8,773	18,495	
売上総利益	4,280	4,266	4,388	1,929	4,090	188	264	311	198	371	4,468	4,531	4,700	2,128	4,461	852	847	1,020	500	1,032	88	65	87	47	117	—	33	49	28	58	5,406	5,474	5,866	2,700	5,669	
営業利益	1,192	1,163	1,142	245	672	28	85	64	58	100	1,220	1,249	1,207	304	772	▲94	▲44	112	53	159	▲23	▲53	▲38	0	18	▲4	0	▲3	4	9	1,104	1,159	1,301	362	966	
経常利益	1,274	1,683	1,301	308	708	28	76	61	58	100	1,302	1,759	1,363	366	808	▲89	16	102	57	119	▲32	▲58	▲41	▲2	14	▲4	0	▲3	4	9	1,102	1,641	1,383	362	957	
税引前当期利益	1,013	1,726	1,275	485	885	28	76	61	58	100	1,041	1,802	1,337	543	985	▲134	28	45	58	119	▲37	▲76	▲41	▲2	14	▲4	0	▲3	4	9	833	1,753	1,350	548	1,134	
当期純利益	644	1,025	661	323	530	28	76	61	58	100	672	1,101	723	381	630	▲140	3	▲119	54	69	▲37	▲76	▲41	▲2	14	▲4	0	▲3	3	7	489	1,009	592	357	703	

20 3 (+)

()

			() 40 18 9	() 41 19 9				
55,885	54,292	△1,593	6,773,986	6,302,821	471,164	6.96	3,544	5,303
82,159	104,146	21,987	4,496,144	4,173,924	322,219	7.17	59,880	76,864
0	8,068	8,068	2,277,841	2,128,896	148,945	6.54	28,373	0
54,902	58,298	3,396	1,732,446	1,824,728	92,281	5.33	0	0
9,440	0	△9,440					10,156	15,363
506,151	543,164	37,013	545,395	304,168	241,227	44.23	19,898	45,727
39,693	39,577	△115					121,854	143,258
145,405	127,134	△18,270	121,854	143,258	21,404			
2,011	6,915	△4,904	22,677	80,735	58,058		4,754	11,264
8,269	5,750	△2,519					()	0
92,280	98,563	6,283	644,572	366,691	277,881	43.11	0	36,058
10,859	14,401	3,542					9,126	14,821
73,467	76,538	3,071	20,791	227,176	206,385		0	13,698
49,216	54,523	5,307	25,975	50,187	24,211		8,796	3,395
22,919	25,260	2,341					22,677	80,735
4,600	4,896	295	639,387	543,679	95,708	14.97		
66,880	80,428	13,547					550	176
18,689	19,649	960	226,000	63,000	163,000		0	174,960
324,810	329,988	5,178	16,611	98,796	82,185		20,240	52,040
41,893	63,277	21,383					20,791	227,176
10,377	11,001	624	396,776	381,883	14,893	3.75		
38,266	36,211	△2,055					765	1,412
78,289	76,469	△1,819					25,210	8,774
1,732,446	1,824,728	92,281					0	40,000
			33.63%	33.78%		0.15%		
			8.05%	4.83%		-3.22%		
			9.52%	5.82%		-3.70%		
							25,975	50,187

2.

(InertSil) ()
(InertCap) ()
(InertSep)



INERTSIL®



INERTCAP™



INERTSEP™

ODS-3

ODS-3 2μ

2.3

8.3

2.4

4.2

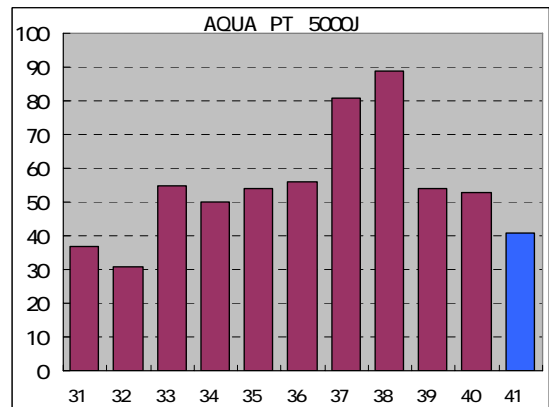
● GC-4000

1.2



GC

● 5000J

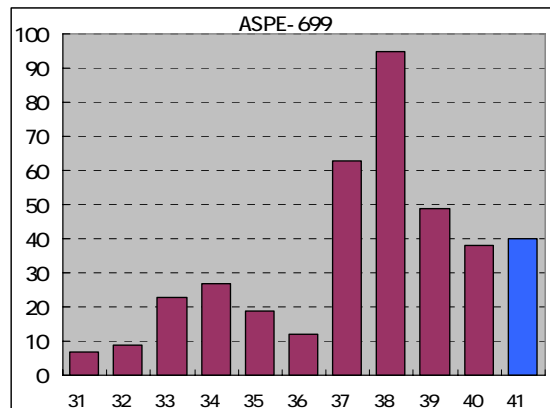


● 699

16 4

40

36



699

5000J

7 9



GL-7400

5.7

3.

”

“

(InertSil) ()
(InertCap) ()
(InertSep)

ODS-3 2 μ

PureWax



AERO [アエロ]
タワーシステム ACS-2100

かびがえのない空気のために
 『次世代大気分析キャスタシステムが誕生』
 大気分析に必要な「信頼」と「高性能」を実現した次世代キャスタシステム
 AEROタワーシステム ACS-2100 があなたの分析を支えます。

- 高性能データの獲得
- キャスターの管理機能
- 各種ログ管理システム
- 日本語ソフトウェア
- 自己診断プログラム
- 標準キャスターの取り付け
- ランニングコストの削減

AEROタワーシステム ACS-2100

AEROタワーシステム ACS-2100では、2000システムを継承した、多機能を実現している機種です。
 TAEROタワーシステム ACS-2100は、従来の機種とは異なる構造は「AERO C」が特徴です。

AEROタワーシステム ACS-2100

AERO D-esh

アプリケーション

TD-14, 1.5x10⁶ppb, 7500ppb (ppb) 100%濃縮

MICROLAB

4,000

◆ 自動認識事業

41 期 中間決算説明会資料

1. 第 41 期上期売上計画・利益計画達成概況について

- ・ 売上実績はシステム部門でほぼ確定していた大型受注見込み 2 案件（総額 60,000 千円）の思わぬ失注の影響により 424.672 千円となり、計画（435,000 千円）を僅かに割り込み、達成率では 97.6%の結果に止まりましたが、前期比では 159.9%と大きく伸ばすことができました。
- ・ また、営業利益ではデバイス関連で比較的利益率の高い完成系製品群（高付加価値製品と位置付けしている製品群）が好調に推移したため売上総利益率を押し上げ計画 44,720 千円に対し達成率 130%の 58,203 千円の実績をあげることが出来ました。

2. 市場の動向《文中は日本自動認識システム協会が作成した資料を参考としています》

- ・ 日本自動認識システム協会による『2006 年度自動認識機器の市場動向調査』によると、RFID 関連の出荷実績は前年比 12.9%増となりバーコード関連（3.9%増）、バイオメトリクス（3.7%増）に比べ大きな伸びを示しており、2007 年度の予想値でも自動認識機器全体の出荷金額は 2,807 億の前期比 10.9%増と予想し、この中で RFID 関連は 576 億（RFID 機器、タグおよびソフトウェア含む）と予想、前年比 33.0%増以上の大幅拡大を期待しております。
- ・ このような高い伸びを期待する背景には、政府の IT 戦略本部が策定した『IT 新改革戦略』による IT 化の第 2 ステージとして
 - ① IT を駆使した環境配慮型社会の実現
 - ② IT による防災・治安・食の安全・安心の確率
 - ③ IT 経営の確立による企業競争力の強化をめざすなどを標榜し、その中で新しい価値創造の基盤的ツールとして RFID などの自動認識技術を活用したアプリケーションが強く期待されていることが要因しているとみています。
- ・ さらには景気回復による設備投資の増加や RFID 関連（装置・RF タグ・IC タグ・電子タグ）活用の裾野が急ピッチに拡大していることに有るとしてあります。
当事業本部においてもセキュリティ分野、アミューズメント分野の消費生活部門に加え工場、物流、流通などの産業分野からの引合も増大し裾野の拡大を実感しております。

3. セグメント別活動報告

1) システム部門

- ・システム部門の売上は **115,628** 千円と、計画 **120,500** 千円に対し達成率では **96.0%** でしたが、小口案件の積上げや新規に投入した入退室管理システム『**JaniorHSD** システム』（**Janitor**=管理人・門番・守衛という意味です※カタログを参照願います）が上期で **5** 施設に導入するなど好調に推移し、前期比では **163%** の伸びとなりました。
さらに、今上期中に多数の大型案件の受注を積上げることが出来たので通期では計画の **240,000** 千円を達成することを確実にし、**3** 億超を見込める状況となりました。
- ・個人情報保護法、**SOX** 法（**2008** 年度より）の施行など情報管理の重要性が認識されるなか施設の入退室管理を違和感無く確実に運用できるシステムが求められていますが、非接触 **ID** カード（タグ）を利用したシステムは接触式デバイスやバイオメトリクスを利用したシステムに比べ利便性が高い（利用される状況によっては判断が分かれるが一般的に・・）との認識から今後、益々需要は高まって行くと予想しています。
- ・また、今回発表した『**JaniorHSD** システム』は協業 **2** 社と企画した構築製品ではありますが、入退室管理に『監視カメラシステム』を連携させたものをパッケージ化した製品であり、高度な管理を実現できるための拡張性も備えた製品ですが、当社を含めた **3** 系統の販路も獲得し今後の主力製品と期待される製品です。現在 **10** 件の引合い案件に対応中です。

2) デバイス部門

- ・デバイス部門では、
 - ①警備機器メーカー、タイム情報機器メーカーなどの安定取引先からの受注停滞
 - ②住宅向け特殊錠、アミューズメント向けリーダーの開発遅延（客先要因）
 - ③特に警備機器メーカー向けで計画したタグの受注では計画の **40.0%** に止まるなどのマイナス要因が重なりましたが、一方大型案件（壁付けリーダーの大量受注）を取込むことが出来た結果、売上実績は **309,042** 千円と計画（**314,500** 千円）を僅かに不足し達成率 **98.3%** でした。
また、利益率の高い完成系の製品群（壁付けリーダーなど）の売上を伸ばすことが出来た結果、事業部全体の営業利益段階で計画達成率 **130%** を実現する大きな要因となり、この傾向は下期にも継続されると予想しています。
- ・当事業本部では前期より高付加価値製品（制御機能を含んだ高機能カードリーダーやマルチプロトコルリーダーなどの完成系商品群）の開発を急ピッチで進めております。これまでは各種機器メーカー向けをターゲットとして、比較的開発負担が少ない機器組込み型のリー

ドライタを中心に開発して来ました。これは短期に開発し速攻で市場投入することで当社 RF 製品の普及度と知名度を上げる目的でした。この結果、機器組込み型の年間出荷台数はカスタマイズものを含め約 10 万台程度となり売上の大きな柱になって来ております。

- また、これらの販売により市場ニーズの把握やマーケティング活動を効率的に行えた結果、システム・インテグレータやシステムメーカー、ソフトウェア開発メーカーをターゲットに最終完成系製品群開発に取り組む判断をしました。前期では汎用の『防滴仕様の壁付けカードリーダーシリーズ』（開発完了）をはじめ『入退室管理用コントローラ付リーダー XRC シリーズ』（開発中：限定出荷有り）の開発量産に着手しました。独自開発のため機構設計や細かな仕様決定に多くの時間を費やしていますが『防滴仕様の壁付けカードリーダーシリーズ』は前期後半から売上に貢献し、今期上期でも予想を超えて販売実績を伸ばしております。『入退室管理用コントローラ付リーダー XRC シリーズ』も一部の仕様限定して販売を開始しましたが好調に推移しております。今期では 4 アイテムの開発に着手しておりますが今下期より順次営業リリースして行く予定でおります。大きく成長する製品群となることを確信しております。

4. 下期の見込み

下期ではシステム関連は『JaniorHSD システム』シリーズの引合いが活発であることや新規開発品の『XRC100』スタンドアロンタイプがリリースされることなどで好調に推移すると見込んでいます。不安材料としては受注している大型 3 案件が全て 3 月に導入工事（検収）が集中することですが、これらを問題なく完了できれば通期計画を大幅に上回る見込みです。

デバイス関連では開発が遅れている（客先での理由による）製品の納入が実行されることや新規開発品『XRC100』（システム化されない単品販売）、『埋め込み型カードリーダー（XR01）』、『機器組み込み用一体型 NFC マルチリーダーライタ』など今後主力となる製品群がリリースされることにより通期計画は達成できる見込みです。

以上